

観光社会資本の事例

テーマ 金山型住宅と街並み景観

【施設の状況写真】



「金山型住宅」の原型。この建物は明治20年建築の元旅籠で、現在は一般住宅として使用されている。



「金山型住宅」と石畳みの通路、水路により街並みが形成されている町の中心部。

【施設の利用写真】



期間限定で内部を一般公開。「金山型住宅」の体験ができる。



開放的な散策路と大堰ではゆったりした時が流れる。

【観光資源としての利用状況】

金山町は、景観を公有的なものと捕らえ、豊かで、住みやすい美しい町づくりへの町民の理解と努力により今の街並みを形成している。景観の主要な部分となる家並みは、切り妻屋根に白壁と杉板張りという形であり、金山の街並みをさらに美しくしていくための大きな要素になっている。観光面でも、近年さまざまな形で各方面から高い評価をいただいております。金山町中心部の美しい街並み（家並み）、石畳の通路、水路を泳ぐ錦鯉ののどかな風景を楽しみに訪れる観光客や、視察に訪れる団体も年々増加しており、ゆとりと落ちついた佇まいを見せている。

テーマ 金山型住宅と街並み景観

【社会資本の基礎データ】

名称 金山型住宅
所在地 山形県最上郡金山町
事業名 金山町地域住宅計画（HOPE計画）
事業主体 金山町
事業期間 昭和59年～昭和62年

【社会資本の役割・効果】

産業効果

「金山型住宅」の新築等により、地場産業である林業の「金山杉」の消費拡大、住宅を中心とした関連産業が活性化されている。また、在来工法の木組みの技「金山大工」の技術の向上と継承がなされている。

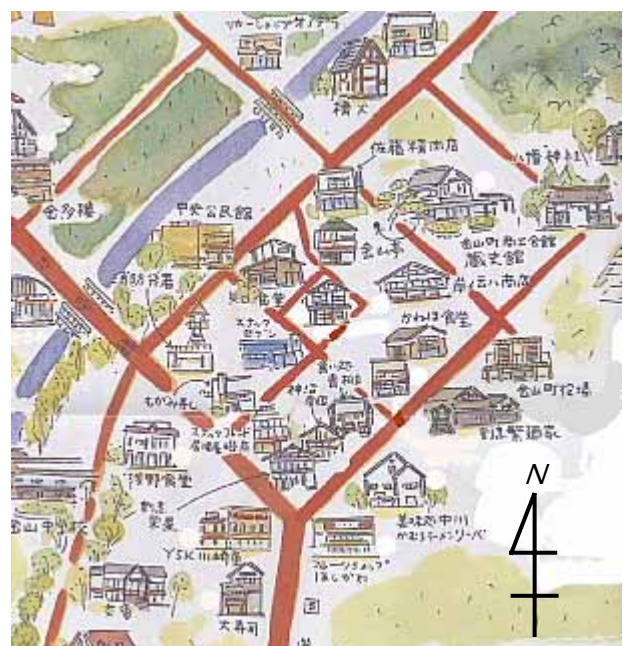
観光効果

「金山杉」と白壁の「金山型住宅」の街並みを視察する団体や、のどかな風景を散策する観光客が増加している。また、町民の街づくりへの意識の高揚が図られ、美しい風景と調和した街づくりに住民の意識も広がってきている。

【位置図】

金山町への交通のご案内

JR利用 山形新幹線新庄駅下車。山形交通バス金山行きで40分。
飛行機利用 山形空港から山形新幹線で新庄駅下車。山形交通バス金山行きで40分。
庄内空港から陸羽西線で新庄駅下車。山形交通バス金山行きで40分。
自動車利用 山形自動車道山形北I.Cから国道13号で1時間40分。
東北自動車道古川I.Cから国道47号で2時間。
国道48号で東根を經由し、国道13号で2時間30分。



関連ホームページ】金山町役場 <http://www.vega.ne.jp/~kaneyama/>
金山町商工会 <http://www.kaneyamamachi.jp/>

